



平成27年10月27日

各 位

会 社 名 株式会社エクセル
代表者名 代表取締役社長 大滝 伸明
(コード：7591 東証第1部)
問合せ先 取締役経本部長 太田 勝男
(TEL. 03-5733-8404)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、平成27年10月2日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」(添付別紙)を開示しましたが、本日開催の取締役会において、直近の配当予想を修正することなく、以下のとおり平成27年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を行うことについて決議しましたので、お知らせいたします。

1. 配当の内容

	決 定 内 容	直近の配当予想 (平成27年5月14日公表)	前中間期実績 (平成26年9月中間期)
基準日	平成27年9月30日	同 左	平成26年9月30日
1株当たり 配当金	17円00銭	同 左	17円00銭
配当金総額	147百万円	—	147百万円
効力発生日	平成27年12月7日	—	平成26年12月8日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(参考) 配当予想は以下のとおりです。

基 準 日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期 末	合 計
配 当 予 想		17円	34円
当 期 実 績	17円		
前 期 実 績 (平成26年3月期)	17円	17円	34円

以 上



別紙

平成 27 年 10 月 2 日

各位

社名 株式会社エクセル
代表者名 代表取締役社長 大滝 伸明
(コード：7591 東証第1部)
問合せ先 取締役経理本部長 太田 勝男
(TEL. 03-5733-8404)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表した業績予想を修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

①平成 28 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 103,000	百万円 2,100	百万円 1,900	百万円 1,500	円銭 173.08
今回修正予想 (B)	92,000	2,050	1,850	1,900	219.23
増減額 (B-A)	△ 11,000	△ 50	△ 50	400	
増減率 (%)	△ 10.7	△ 2.4	△ 2.6	26.7	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 27 年 3 月期第 2 四半期)	116,037	2,186	2,281	△ 795	△ 91.80

②平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 210,000	百万円 4,200	百万円 3,900	百万円 3,100	円銭 357.71
今回修正予想 (B)	160,000	3,100	2,800	2,670	308.08
増減額 (B-A)	△ 50,000	△ 1,100	△ 1,100	△ 430	
増減率 (%)	△ 23.8	△ 26.2	△ 28.2	△ 13.9	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	235,272	4,549	4,653	△ 7,805	△ 900.72

2. 修正の理由

①平成 28 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績について

中国市場を中心としたスマートフォン向け液晶モジュール及び電子デバイスの需要が 6 月以降急減したことにより、売上高、営業利益、経常利益は、期初公表値を下回る見込みであります。

なお、平成 27 年 3 月期決算において、当社子会社である卓華電子(香港)有限公司が、WINTEK 社に対して有する売掛債権について、その全額を破産更生債権等に振替え、特別損失として貸倒引当金繰入額 137 億 20 百万円を計上しておりましたが、今般、市場返品に伴う WINTEK 社からの請求額と、破産更生債権の一部との相殺等を行ったことにより、貸倒引当金戻入額 4 億 93 百万円を特別利益に計上いたします。この要因により、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、期初公表値を上回る見込みであります。

②平成 28 年 3 月期通期連結業績及び今後の見通しについて

中国経済の減速を受け、第 3 四半期以降もスマートフォン向け液晶モジュール及び電子デバイスの需要は低調に推移する見込みであることから、平成 28 年 3 月期通期の売上高、営業利益、経常利益は、期初公表値を大幅に下回る見込みであります。

なお、本件修正による配当予想の修正はありません。

来期の連結業績予想につきましては、まだ発表できる段階にはありませんが、メキシコ拠点（11 月開設予定）の展開によるビジネス拡大や ASEAN、インド地区におけるビジネス展開を推進すること等により、中国経済減速の影響をカバーできるよう努めてまいると共に、従来同様中国市場におけるビジネス展開を図ってまいります。多額の貸倒引当金繰入により招いた資本の毀損を、できる限り短期間に復旧すべく、全社一丸となって業績の拡大を目指してまいります。

※ 上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上